

## 知事への質問項目

### 1. 新型コロナウイルス対応について

- ①県内の全対象医療機関に対する発熱外来の指定率はわずか22%。8月の第7波では、発熱外来に電話が殺到し、電話もつながらず医療を受けられない感染者が多発した。今後、指定率を50%程度まで引き上げると共に、指定医療機関名を全て公表することを求めたい。
- ②医療ひっ迫に備え、世田谷区のオンライン診療のような、発熱相談をオンラインで受け、医師と直接話せて薬の処方までできるシステムを導入することについて見解を伺う。
- ③千葉県陽性者登録センターの手続きは非常に煩雑で、感染者は対応が難しい。もっと簡略化して、分かりやすく図で示すことを求めたい。
- ④抗原検査キット無料配布に関しては、恒常的通年型に変更し、足の便がない高齢者に配慮して、「65歳未満」という年齢制限を取り払うことを求めたいがどうか。

### 2. 長期療養中の児童生徒への学習の保障について

小児がん等で長期療養が必要となった児童生徒、特に高校生がリモート授業を受けられる体制づくりについて、愛知県での高校と病院をつなぐ医教連携コーディネーターを置き、テレロボ10台を準備、県立学校だけでなく市立、私立学校でも利用できるようにした取り組みなどを踏まえ、千葉県としての前向きな対応を求めたいがどうか。

### 3. 自立援助ホームの子どもたちへの支援について

なんらかの理由で家庭にいらなくなり、働かざるを得なくなった原則15歳から20歳まで(状況によって22歳まで)の子どもたちの施設「自立援助ホーム」に関して、毎年予算要望で「自立に向けての高卒認定試験の受験や大学進学を支援する県独自の財政的支援」「国民健康保険料の減免措置」を求めているが毎年ゼロ回答となっている。埼玉県の一部活や昼食代への助成、大学受験料補助、大学進学者の住居支援、自動車運転免許取得助成等の支援を参考に、千葉県としての前向きな対応を求めたいがどうか。

### 4. 霞ヶ浦導水事業について

知事が千葉市長時代に「甘い見通しによって必要のない水源確保に税金を投入してしまったこと、撤退の判断が遅れたことは反省しなければならない。」として、霞ヶ浦導水事業から撤退された姿勢を県知事としても貫いていただきたい。現に埼玉県も水不足が解消されたとして、同導水事業から撤退しているところである。

同導水事業の根拠とされている国交省の「第6次フルプラン」の論理は完全に破綻していることを検証するために、導水事業に参画している千葉県、茨城県、東京都、そして撤退した埼玉県も含めて、「霞ヶ浦導水事業広域連合」を作ってはどうか。

## 5. 千葉県の給食の無償化とオーガニック化について

- ①9月県議会で、3人目以降の子どもの小中学校などでの給食費を無償化とする補正予算案が可決成立した。都道府県単位では全国初とのことで、大いに評価したい。今後、「3人目以降」から対象を拡大する意向はあるのか。
- ②学校給食については、「安かろう、悪かろう」を防ぐため、無償化と共に「オーガニック化」をセットで進めるべきと考える。いすみ市や木更津市に続いて、オーガニック給食を県内に拡大するために、「千葉県有機農業推進計画」や「千葉県食育推進計画」に学校給食を位置づけ、技術支援のみならず、食材安定供給のための環境整備を支援するなど対策を考えて頂きたいがどうか。

## 6. 福島原発汚染水海洋放出について

福島第1原発事故による汚染水（ALPS 処理水）の海洋放出について、来年春からの実施に向けた海底トンネルの掘削が強行されている。大量のトリチウムを除去できず、その他の核種についても極めて不透明な汚染水の海洋放出は、海流に乗って本県の漁業にも甚大な影響を与えかねない。全漁連の会長も務める千葉県漁連会長坂本氏は6月27日、経産省を訪れ海洋放出について「断固反対」との特別決議文を手渡した。千葉県知事としてどのような見解か。

## 7. 千葉県男女共同参画条例づくりについて

千葉県は全国で唯一男女共同参画条例の無い県である。知事は就任直後に「ダイバーシティを意識した、保守派に反対されない条例を慎重に検討していく」と表明されているが、今後どのように検討していくのか。いつ頃の制定を目指しているか。

## 8. 東京都の新築住宅への太陽光発電設置義務付けについて

東京都は、12月都議会に環境確保条例改正案を提出し、新築住宅への太陽光発電設備（太陽光パネル）設置の義務化について、2025年4月の制度施行を目指すとしている。日本は50年カーボンニュートラル（脱炭素化）を政策決定するとともに、30年度に温室効果ガス排出量を13年度比で46%削減すると国際的に公約しており、本県も昨年3月にカーボンニュートラル宣言を発出しているところである。東京都の取り組みについての見解と千葉県としての今後の方向性をお示しいただきたい。

## 9. 子ども医療費の助成割合など、政令市だけ格差がある問題について

政令市市長出身の県知事として見解をうかがいたい。